

3) 2026年度事業計画

1. はじめに（定款より）

（一社）神奈川県労働文化センターは、神奈川県下の労働者の労働教育、文化活動及び余暇活動を積極的に推進し、もって労働者の経済的・文化的地位の向上に寄与することを目的とし、次の事業を行う。

- （1）労働問題、文化教養及び保健衛生に関する講座の開催
- （2）労働者の福祉活動及び余暇活動に関する調査研究及び資料収集
- （3）労働者のレクリエーション及び余暇活動に関する事業の開催及び器具の貸与
- （4）神奈川県労働文化センターの建設及び管理運営
- （5）その他目的を達成するための必要な事業

2. 事業計画

（1）継続事業（ホール・会議室利用促進）

- ①会議、研修会 会員・市民団体等を対象に利用促進
- ②懇談会・懇親会 会員・市民団体等を対象に利用促進
- ③その他 会員・市民団体等を対象に利用促進

（2）文化交流事業

- ①各外部団体等との交流 諸会議、イベントへの参加を通じて積極的に実施
- ②その他 会員・館内交流会に関しては政府・自治体による宣言、対策を勧告した上で、拡大理事会において開催可否を判断します。

3. 各種会議

（1）総 会

第69回定期総会

- 日 時 2025年6月開催
- 場 所 文化センター第6会議室
- 議 事 2025年度事業報告・決算報告
2026年度事業計画
2026年度予算
役員選出（2年任期）

（2）理事会

理事会 — 6回／年

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
理事会	○		○		○		○		○		○	

4. 消防関係

神奈川県労働文化センターの入居者の生命と財産を守るため、率先して自主防災の体制強化に取り組めます。

（1）消防・災害訓練

訓練の実施 9月、12月を予定し、館内入居団体全員参加にて行っています。

（2）自主点検

防災は入居者・利用者全員の意識と協力によって達成されます。自ら率先して防災に努力することを含め自主点検に基づき実施します。

- (3) 消防設備等の法定点検の実施と不具合の早期改善
消防用設備の点検を確実に実施し、指摘事項については、早期の改善に努めます。

5. 賃借関係

(1) 貸事務所

2026年3月現在7団体が入居、空室はなし。

(2) 貸ホール・会議室

2025年度は前期とほぼ同水準の利用状況でした。ホール利用、定期利用者の拡大、新規顧客の積極的な取り込みに努め、今年度目標を利用件数550件・利用収益を516万円とします。

(3) 貸駐車場

JR・理容会館からの賃借となっており在館者と一部を他団体の使用となっています。
空スペースもあり契約拡大に努めます。

(4) 受益者分担金

電気・水道料金で入居団体および文化センターの受益者負担となっており、引き続き適切な費用分担、会館運営に努めます。

(5) 営繕関係

会館竣工後約60年を経過し設備の老朽化、不良化への対応を引き続き計画的、かつ応急的に対処していきます。

排水管系統に故障の履歴、詰まり、漏水発生がこれまでもあり、管内の高圧清掃も慎重に行い、予防と故障発生の際は適宜、速やかに修繕対応します。

(6) 館内衛生対策

継続して衛生面で日常清掃の実施、確認、定期的に防虫防鼠措置を行います。

(7) 財政問題への対応

①ここ4期で、エレベータ設備リニューアル、水道の本館直結、館内水管の新設、LED照明交換など環境改善のための大規模工事を行ってきました。

②2018年度に空調設備をすべて交換、前年度リース終了しました（再リース中）

③収入面では、2024年4月に約11%アップの賃料改定を行いました。

④設備の老朽化に対応した営繕工事、交換などの刷新にかかる多額の経費の発生が必須で財政面でへの対策が引き続き必要となります。

【対応】

①賃料改定の増収分は、営繕予備費として中期的な施設、環境の維持に活用していきます。

②引き続き、理事会において、財政状況の分析と施策を検討、立案し法人運営の効率化、安定化を図っていきます。